

女性活躍推進フォーラム 第4回

各グループが企画内容を確定

竹部氏がプレゼンのポイント指南

2・16 最終回で発表

人材育成委員会が主催する「女性活躍推進フォーラム」(第4回)が12月22日にオンラインで開かれた。

所の竹部裕樹氏が講師を務めた。プレゼンテーションとは、複数の人に意図や計画、企画や商品について説明すること

で、相手に伝わり理解されることは最低限のラインであり、聞き手の行動（承認、同意、協力、協働、自働など）を促すことが目的となる。

目的を果たすため

に、効果的なプレゼンの仕方は存在

するという。

まずは話す態度や使う言葉、話の進め方

などビジネス話法のポイントを押さえ、自身の習慣としていくことが基本となる。そのうえで、プレゼンテーションの3つの要素となる、明確な結論から分かりやすい流れをつくりキーワードを開いていく「構成」と「話し方」、話を補完する見やすい「資料」の作成を行う、ベーシックな流れが伝えられた。

講義の後に、グループに分かれ実際にプレゼンテーションを行い、EBIエンタテインメントビジネス総合研究



オンラインによるフォーラムの様子

セミナーの講師を務めた
竹部裕樹氏▶



テーマと参加者 (順不同、敬称略、(株)略)

Aグループ「みのりの森のなかまたち」=新甫望美(ダイエー)、清水沙織(マルハン)、山本まり(三慶商事) **Bグループ「BBクイーンズ」**=森岡久美子(セントラル伸光)、丸岡裕子(夢コーポレーション)、櫻本亜香理(キスケ)、下沢和子(ダイナム)、東田なつき(平成観光) **Cグループ「6°C」**=川名千秋(ヒカリシステム)、大坪綾夏(平成観光)、井上彩香(プローバ)、松本智波(正栄プロジェクト)、木村菜々美(アサヒディード)、小川早紀(夢コーポレーション) **Dグループ「ドリーミングアップ」**=渡辺由美子(ノースランド)、山田結理(平成観光)、伊吹綾乃(ダイナム)、及川麗菜(オータ)、宮崎亜純(ミナミ・エンタープライズ)、紀之國円佳(J-NET) **Eグループ「E-Up.Girls!」**=森美由紀(ノースランド)、白戸千裕(平成観光)、石川菜々子(グランド商事・アドバンス)、吉田彩里(合田観光商事)、金子莉央(日拓ホーム)、荒木鈴音(メッセ) **Fグループ「チムドンドン」**=佐藤照美(三慶商事)、杉江有理(ヒカリシステム)、町田望(オータ)、高橋親知佳(安田屋)、野本梨香(キスケ)、井田実波(メッセ) **Gグループ「ユニコーン」**=谷川久美(夢コーポレーション)、児玉ゆう子(西の丸)、坂牧美穂(玉屋)、高木舞(サンキュー)、飯田らな(ABC)、八嶋亜美(NEXUS) **Hグループ「happiness.」**=知花綾乃(新富商事)、霞麻美(マルハン)、赤岡千覚(合田観光商事)、生田由枝(善都)、丸岡小梅(夢コーポレーション)、平岩真優佳(安田屋) **Iグループ「地方爆発娘～clash gals～」**=森田瀬奈(キスケ)、大島愛弓(セントラル伸光)、水木由衣(ノースランド)、高田彩(マルハン)、榎原春(善都) **Jグループ「J6」**=河野桃子(キスケ)、中川奈緒美、妹尾飛鳥(エムズ・ユー)、見城加奈(玉屋)、金内紗也加(西の丸)、鈴木愛梨(日拓ホーム)

委員からファイードバックを受けた。
第2部のグループディスクッションでは、これまでグループで構成を練ってきた企画内容を確定し、

提案議題や目的、背景の繋がりに矛盾はないか、さまざまな角度から検証した。

次回2月16日は本期最終回となり、各社の派遣担当者も傍聴する全員参加の企画プレゼンテーションが予定されている。

また同日に開催した人材育成委員会は11人が参加し、女性活躍推進フォーラムの運営の最終確認と、人材育成

フォーラムの講師選定など状況報告が行われた。



広報調査委員会

1月23日
本部会議室(ウェブ会議)
出席委員等15人

来期の事業計画などを協議 業界データベース更新事業は終了

会議冒頭、福山裕治委員長から1月11日に開催された加盟団体会

ついても、実施内容・方法の検討を行う。

われた。

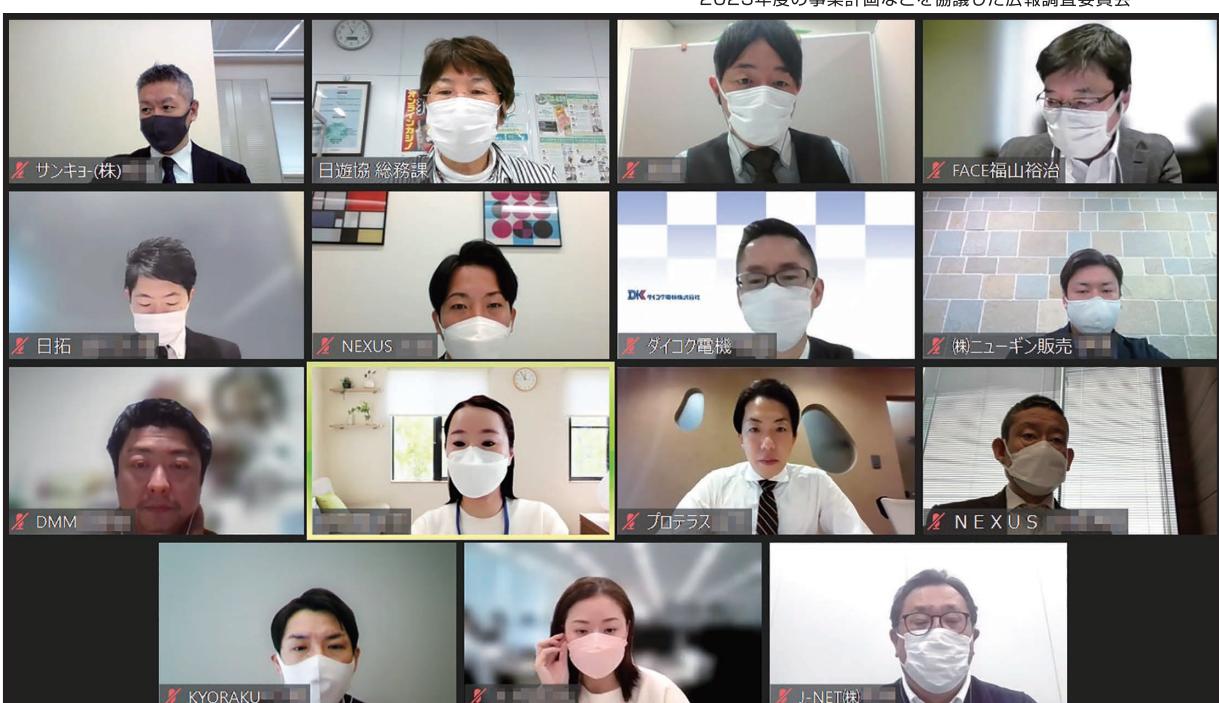
次回の広報担当者フォーラム、井戸端会議の開催が確認され、ワーキンググループが次回委員会までに具体的企画を立案する。また、前回フォーラムのワークショップを完成させるための自主勉強会に

参加するための会員向けセミナーを、

アンケート公開後に企画する予定とした。

23年度の事業計画を検討し、業

介を受けた。SDGs体験ゲームや事例発表、情報交換会などが予定されている。



界データベースの更新事業は今年度で終了することとした。スタートした12年からウエブ環境やデータ提供状況が格段に進化し、当時の形態を継続する必要性が低くなつたことや、年刊の遊技産業データブックが発行されたことで代替情報源となりうることなどから判断。その他項目についても2月をめどに協議していく。

加盟団体のMIRAIばんこ産業連盟から、2月27日に開催予定の「SDGsセミナー」の紹